

令和6年度取組状況

ものづくり工学科 機械システム工学コース 教授 松澤和夫

取 組 状 況	
教育	1. 卒業研究における主体性の育成 卒業研究は本科の総まとめ科目であり、5年間の集大成となるため大学と同様に能動的な研究習慣を身につけることが望まれる。そのため自主的な文献調査と研究計画の立案を年度当初に十分に行うことで特別研究論文のレベルアップにつなげた。卒業研究の成果は機械学会機械学会関東支部で発表した。 2. 4年ゼミナールにおける、プレ卒研の試み 4年ゼミナールにおいては、プレ卒研の位置づけでテーマ決めをすることにより、卒業研究の5年生学生とのコミュニケーションが促進され、近年低下しつつある対面でのコミュニケーション能力を向上させた。
研究	・国内学会発表 (1) 相沢 友勝, 松澤 和夫:「Al/Cu薄板の無衝突電磁圧接用H字形多数ターンコイルの実験」, 2024年電子情報通信学会ソサイエティ大会, 講演論文集, 講演番号 C-5-01,(2024) (2)相沢 友勝, 松澤 和夫:「弾力のある薄い平板状5ターンコイルによるAl/Cu薄板の電磁圧接」, 2025年電子情報通信学会総合大会, 講演論文集, 講演番号 C-5-01, (2025) (3)新野 星, 松澤 和夫, 井上 誠, 中田 大貴, 上田 恭介:「医療用高純度Mg-Zn合金の耐食性」, 日本機械学会関東学生会第64回学生員卒業研究発表講演会,講演番号 831,(2025.3.3)
社会貢献	1. 品川区ビジネスカタリスト 2. 東京都職業能力開発協会 技能検定試験検定委員 3. 日本マグネシウム協会 切削分科会主査ほか 4. 高等学校工業検定教科書編集委員(監修)